

安心して暮らせる家

防滑機能と蓄光機能で
住宅のバリアフリー性を高める

「耐震化」「高耐久」などと並んで、国が推進する施策の一つだ。住宅金融支援機構も2011年度3次補正予算案に伴い、住宅ローン「フラット35S」の詳細を11月に公表。20年間金利引き下げ対象となる住宅要件のうち、耐震性とバリアフリー性

で、それぞれ次世代省エネ基準を追加すると明らかにしている。

石工事業を手掛けるアベイラス（東京都港区）が開発した「高高度石英成形板」は、今後、バリアフリーア化の需要を取り込んで一般家庭での採用が進むと見られている。新素材だ。鉄の3倍

もの表面硬度を有しながら柔軟性も併せ持ち、優れた防滑性・耐久性・耐摩耗性と蓄光機能まで有している。吸水性がないため、汚れが付きにくく凍害が発生しにくいという特徴もある。耐酸性・耐アルカリ性にも優れているため、キッチンやお風呂場、トイレで使用しても薬液洗剤に侵されにくい。内外装の床から壁水回りなど、あらゆる場所での用途が考えられる素材と言える。

し続けると用して、商間の非常灯に施工するとい
てていると防署の承認のもと、電気式誘導
灯から同製品に切り替えたという例もある。
住宅向けに施工された例は少ないが、

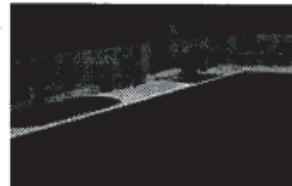
●キッチンカウンターにも使える蓄光材



明視下



▲明視下



▲暗視下



▲暗視下

もの表面硬度を有しながら柔軟性も併せ持ち、優れた防滑性・耐久性・耐摩耗性と蓄光機能まで有している。吸水性がないことによる滑りやすさが、この商品の特徴である。また、この商品は、従来の床材と比較して、施工が簡単で、施工費用が低いため、バリアフリー化の需要を今後取り込んでいく可能性は高そうだ。